



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2018

1月26日号

162
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会 〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

新年の目標



副会長 平井和子

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、技師会活動にご協力をいただきまして、ありがとうございます。昨年は選挙による役員
の交代に加え、副会長を3名に増やすことで各地区との連携を強化してきました。本年も会員の皆様
と共に、有意義な活動を行ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、皆様、どのような新年をお迎えになったでしょうか？

私の年明けの過ごし方は、1日はニューイヤー駅伝、2日～3日は箱根駅伝を楽しむのが恒例で、
今年もまたTVにくぎ付けでした。

特に箱根駅伝は、片道100km以上、5時間を超える競技にも関わらず、飽きることなく、ついつい
最後まで見入ってしまいます。各走者の様々な背景が紹介され、そこに自分の思いを重ねながら、そ
の走りに引き込まれてしまうのです。繰り上げスタートや途中棄権など多くのドラマが生まれ、ま
た、走ることができなかった選手たちのことなどにもスポットが当てられ、駅伝の魅力には計り知れ
ないものがあります。

一方、ニューイヤー駅伝は、箱根駅伝を走ったスター選手たちが集い、名実ともに駅伝日本一を決
める戦いですが、注目度の面では、箱根駅伝にはなかなか敵いません。しかし、私にとって、今年の
ニューイヤー駅伝は、少し違いました。学法石川高校出身の高卒ルーキー遠藤日向（住友電工）が並
み居る強豪選手を抑えて1区で区間賞を獲得したのです。ご存知の方も多いと思いますが、この遠藤
選手は、高校3年間全てで国体優勝、インターハイは2年・3年時と日本人トップという成績を残し
た世代最強ランナーです。大学の誘いを断り、箱根ではなく世界をめざすため、実業団へと進んだと
聞きました。日本を代表するランナーが集う駅伝最高峰の舞台で、1年前まで高校生だった彼が、区
間賞を獲ったのですから、私にとっては、たいへん盛り上がったニューイヤー駅伝でした。

ところで、新しい年の幕開けと共に、何か目標のようなものを立てた方も多いのではないでしょ
うか？しかしながら、この「新年の目標」というものは、三日坊主になってしまう代表的なものであ
ることは、よく知られています。三日坊主にしないコツは、明確な期限を決める、具体的である、数値
で表せる、達成可能である、現実的である、そしてご褒美がもらえることが大事だそうです。まさに
この駅伝に通じるものがあるように思います。私も具体的な目標を掲げるべく、思案しているところ
です。

皆様にとって、輝かしい1年となりますことを祈念しております。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均



(2018年1月4日時点の、新医療系学部建設予定地の様子。元は駐車場と2階建ての商業施設でしたが、すっかりなくなって整地している様子がわかります。)

福島県診療放射線技師会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。まだまだ本番はずっと先、と思っていた新医療系学部設置準備業務ですが、実は意外と時間がないぞ、ということがわかりはじめてきたところです。国公立では多分最後になるだろうと言われている医療技術者養成の学部・学科新設に向けて、気を引き締めてがんばって行こうと決意を新たにしているところです。

さて、今回は3つのポリシーの中のディプロマ・ポリシーについてご紹介しました。実は現時点で少々修正を行いましたので、新しいバージョンをここにご紹介いたします。

診療放射線科学科（仮称）では、以下の全ての条件を満たす者に学位を授与する。

1. 電離・非電離放射線の特性を熟知し、的確な診断・治療に資する診療情報を可能な限り低侵襲・低被ばくで提供できる者
2. 診療放射線科学領域の専門家であるという自覚と能力を有し、その職責を全うできる者
3. 医療倫理を十分に理解し、患者に寄り添い、的確な説明・診療の実施を行うことができる者
4. 他職種と連携・協働し、患者のために自己研鑽を継続的に実施できる者
5. 自身の役割を理解・認識し、医療技術の発展や情報・放射線管理の進歩に貢献できる者
6. 福島の放射線災害や危機管理の状況を的確に把握・分析し、県民・国民への情報発信、説明をできる者

前回にも書きましたが、ディプロマ・ポリシーはどのような力を身につけた者に卒業を認定し学位を授与するかを定める方針であり、学生の学修成果の目標となるものです。つまり、本学を卒業した学生は上記の力を身につけた者である、という証ともなります。如何でしょうか？診療放射線技師として仕事を行っていく上で当然の能力や意識を挙げると共に、「さすが福島で学んで診療放射線技師になったな」と先輩方に言ってもらえるような人材像に近づけることを意識して作成しました。なお、現時点で考えている人材像は、以下の通りです。

・保健科学部（仮称）の養成する人材像

1. 県民の命と健康を守る専門医療技術者として、高い倫理観と知識・技術、コミュニケーション能力を有する人材：県民がそれぞれの地域で安心して暮らすためには、命と健康を守る医療者の役割が重要である。専門医療技術者であっても、県民に信頼され、県民に貢献するためには、高い倫理観をもち、プロフェSSIONALとしての知識と技術を有している必要がある。さらに、患者や家族の気持ちや希望を理解し、他の医療関係者とチームで診療に関わるためには、コミュニケーションスキルが必須である。保健科学部（仮称）では、これらの資質能力を身につけた人材を養成する。
2. 生涯にわたって学習・科学するマインドを持ち続け、人として、専門医療技術者として成長することができる人材：卒業後に、保健・医療・福祉の分野において、教育課程で学んだ知識や技術を活かして活躍することは当然のことである。しかし、知識や技術は日々進歩し、社会も変化するため、自らも成長しそれらの進歩発展に対応することが求められる。従って、生涯にわたって学習し、科学するマインドを持ち続ける必要がある。それにより、人としても、専門医療技術者としても成長を続けていけるものとする。
3. 福島県の地域医療や災害医療を理解し、危機管理への取り組みを能動的に行える人材：様々な地域医療の問題を抱え、複合災害を経験した福島県だから学べることがある。福島県の現状を知り、災害医療について理解することは、自然災害だけでなく多種多様な災害や危機的状況にも対応できる力に結びつくと考えられる。主体的に、能動的に危機管理に取り組める人材は、本県だけでなく、日本全体でも求められる人材である。

・診療放射線科学科（仮称）の養成する人材像

診療放射線科学科では、診療放射線科学の確固たる知識に基づいて的確な診断・治療に資する技術を身につけ、医療技術の発展に貢献し、他職種と連携・協働して患者のための診療を実施できる人材を養成する。加えて、放射線災害における状況把握・分析に基づく説明の実施、危機管理における放射線の知識を活かしたトリアージ等の新たな役割を理解できる人材の輩出を目指す。

もちろんまだ決定ではなく案の段階ですので、先生方の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。このディプロマ・ポリシーや学科の人材像に関してご意見をいただける場合は、kubo-h@fmu.ac.jpへ直接メールをお送り下さい。

このようにディプロマ・ポリシーで輩出すべき人材を規定しましたので、今度はこのような人材を育てるためにどのようなカリキュラムを組んでいくか、を示さなければなりません。これが、カリキュラム・ポリシーです。今回は、現在考えているカリキュラム・ポリシーについてご説明いたします。

最後にですが、年頭にあたって一言申し添えます。福島県に診療放射線技師養成機関を設置するには、県内の診療放射線技師の皆さんのご理解とご協力が何より必要であり、皆さまと一緒に考えて患者さんのための、そして福島県のための診療放射線技師を育成していく必要があると考えております。また、卒前のみならず卒後教育にも積極的に関与していくべきと考えております。本年は、それに向けて少しずつ行動を開始していこうと思っておりますので、本年も引き続きご協力ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

～会長 「オンレコ」～

1 「第6回臨時総会について」

学術大会中に臨時総会を開催いたしました。参加出来ない会員には、委任状を出して頂きました。公益法人発足時に作った積立について、切り崩し及び変更を説明しました。皆さんにご理解頂き承認して頂きありがとうございます。

学術奨励積立金は、現在も県内で使用しているピラニア線量計を購入します。精度管理委員会が実施したアンケート結果でも、県内でのピラニアの必要性が浮き彫りにされました。

また、事務所拡充積立金は、柔軟に運用出来るように変更しました。執行部と常任理事を含めたWGを立ち上げて2年間を目処に事務所の確保を検討いたします。

なお、今回から公益社団法人からの総会回数に変更しました。

2 「終身会員について」

定款の第3章会員の第5条(3)に終身会員「満70歳以上の者で、この法人に正会員として長期間在籍し理事会の承認を得た者」とあります。会員納入規程で、第3条(3)「終身会員の会費は0円とする」とあります。会員の皆さんが知らなかったケースがありましたのでご報告いたします。ぜひご承知ください。

また、日放技でも数年後に61歳以上の会員の会費を、15000円から8000円に引き下げる予定があります。

3 「謹賀新年」

2018年も会員や賛助会員の皆さんにとって良い年になりますように祈っています。また戌年が回って来ましたが、私事ですが3月には還暦を迎える事になりました。還暦後も少し会長は務めて行きますので、今後ともご協力をお願いいたします。

4 「2020年について」

2020年は言うまでもなく東京オリンピックの年です。しかし、県技師会でも大きな3つの重要な行事が控えています。

1つ目は、東北放射線技術学術大会が福島に回ってきます。11月に第10回として開催予定ですが、10月には日放技学術大会が宮城県で開催されます。あと3年を切りましたが、技術学会と協力して早めに準備を進めて行きます。オリンピックの影響で、通常は東京開催の学会や研究会も地方での開催が予想されています。

ちなみに日放技学術大会は、来年在山口県下関市、再

来年在埼玉県で、その次が宮城県仙台市で開催となります。

2つ目は、福島県立医科大学の新学部がスタートします。県内初の放射線技師養成の学部新設に、県技師会は今後も互いに協力をして行く考えています。会員の皆さんも大いに関心を持って見守ってください。その後は、実習生や就職での受け入れでも協力したいと考えます。

3つ目は、統一講習会が3月で終了となります。4月からは大学等で教育を受けた学生が卒業して技師になります。その後は講習を行いませんので、早めに受講してください。今後は、保健所監査での指導が入る事も予想されます。

5 「県技師会ホームページがリニューアル」

ぜひホームページを見て、皆さんも確認してみてください。福放技ニュースのバックナンバー等は、とても見やすく変わりました。更に、各種手続きについても改良し充実しています。各種研究会・勉強会のチェックにもお役立てください。

6 「第7回東北放射線医療技術学術大会 学術奨励賞(技師会)」

今年から新設されて、選考は各県会長と教育担当者で行いました。来年は、福島からの受賞者が出る事を期待しております。発表する1つの励みになれば幸いです。

- No.2 CTの造影検査おけるエクステンションチューブの形状による注入圧の比較検討
青森厚生病院 廣津旺志(会員番号 59841)
- No.7 胸部、腹部撮影における入射表面線量の評価と診断参考レベルとの比較
弘前大学医学部附属病院 船戸陽平
(会員番号 64278)
- No.56 脳卒中初療体制の見直しに伴う放射線科体制の構築と成果
八戸市立市民病院 赤崎元貴(会員番号 65235)
- No.57 Radiology Information System (RISによる「疑義照会」)管理システムの構築と有用性
市立秋田総合病院 鎌田伸也(会員番号 40279)
- No.63 腹腔鏡下胃切除術のための3D-CT支援画像
仙台厚生病院 伊藤拓未(会員番号 63723)
- No.76 撮影条件が局所被ばく低減機構に与える影響
山形大学医学部附属病院 中村昌隆
(会員番号 60786)

お知らせ

《会津地区》

第95回会津画像研究会・

第39回会津MRI研究会合同開催のご案内

日 時：平成30年2月7日(水) PM6:15より

場 所：竹田綜合病院 総合医療センター2階

平成29年12月27日

会員各位

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
会津地区協議会委員長 鈴木 雅博
会津MRI研究会世話人 二瓶 秀明

**第95回会津画像研究会・第39回会津MRI研究会
合同開催のご案内**

拝啓、皆様におかれまして益々ご清栄の事とご推察申し上げます。下記のとおり会津画像研究会と会津MRI研究会を合同開催致します。多数参加されますようお願い致します。

敬具

日 時 平成30年2月7日(水) PM 6時15分より

場 所 竹田綜合病院 総合医療センター2階
画像診断センターカンファランス室
*カンファランス室や駐車場の場所については、別紙の案内図を参照して下さい。

司 会 竹田綜合病院 放射線科 二瓶 秀明 氏

演 題 1.「Gd造影剤の添付文書改訂について」
バイオ医薬品株式会社 ラジオロジー事業部 安達 恭幸 氏

2.「シーメンス社製3テスラMRISkyraの初期使用経験」
会津中央病院 放射線科 小沼 慎一郎 氏

3.「心臓MRI検査はじめました」
竹田綜合病院 放射線科 二瓶 秀明 氏

4.「胆管結石の有無を目的としたMRCPプロトコルの検討」
竹田綜合病院 放射線科 小柴 佑介 氏

共催 (公社) 福島県診療放射線技師会会津地区協議会
会津MRI研究会、バイオ医薬品株式会社

会津地区協議会学術担当、事務局

☐ 技師会会員の方は当日、会員カードを忘れずにお持ちください。

《県北地区》

県北地区新年勉強会及び交流会のご案内

新年の始めとして勉強会及び新年交流会を下記のとおり開催を致します。

また、勉強会終了後、新年交流会を予定しております。会員の皆様にはご多忙中とは存じますが、万障繰り合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

【勉強会】

日 時：平成30年1月27日(土) 15:30～

会 場：福島テルサ (月の輪)

福島市上町4-25

TEL 024-521-1500

【講演】

テーマ：患者の移乗・移送 (車いす)

福島県立医科大学附属病院

看護師長 小林美恵子 先生

テーマ：福島県立医科大学保健科学部

診療放射線科学の設置準備とその進捗

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室

教授 久保 均 先生

【新年交流会】

日 時：平成30年1月27日(土) 17:00～

会 場：珍満賓館 (福島テルサ東隣)

TEL 024-522-4379

《浜通り地区 (相双地区)》

平成29年度相双地区画像勉強会のご案内

日 時：平成30年2月21日 18:30より

場 所：ロイヤルホテル丸屋

情報交換会：19:30より

平成30年1月吉日

(公社) 福島県診療放射線技師会浜通り地区協議会
相双地区画像勉強会
代表世話人 大和田 重義

平成29年度 相双地区画像勉強会のご案内

厳寒の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、標記勉強会を下記日程で開催いたします。今回の勉強会が診療放射線技師としての知識の向上になることをご祈念致します。ご多忙中とは存じますが多くの会員様の参加をお待ちしております。

日時:平成30年2月21日(水) 18:30～

場所: ロイヤルホテル丸屋 (南相馬市原ノ町駅前)

受付:18:15～

プログラム

司会 大和田 重義

『MRIの基礎と新しい撮影技術』

—メタルアーティファクトの発生原理と抑制法
高速撮像法の変遷について—

シーメンスヘルスケア株式会社 MRI事業部 大澤 勇一先生

座長 久米本 祐樹

情報交換会:19:30～

※本研修会は、福島県放射線技師会の生涯教育ポイントの対象研究会となっております。福島県放射線技師会新会員証(表面がブルー)をご持参ください。

地区だより

会津地区

「第94回会津画像研究会」開催

平成29年11月8日(水)会津中央病院にて行われました。「非イオン性低浸透圧造影剤オムニパークについて」第一三共株式会社 東北支店 斎藤 清氏、「消化器医が望む肝疾患画像-画像を活かして行う治療法-」昭和大学江東豊洲病院消化器センター 野村 憲弘氏よりご講演いただきました。

斎藤先生からは、造影剤とオムニパークの歴史と歩みについてお話いただきました。野村先生からは、解剖学から肝細胞癌の画像診断とラジオ波焼灼療法（RFA）や肝動脈化学塞栓術（TACE）といったその治療法、そして静脈瘤の治療法について教えていただきました。

これらの治療法が有る無しにかかわらず、皆さん大変勉強になったのではないのでしょうか。

(板橋)



浜通地区

「日本放射線影響学会サテライトシンポジウム in いわき」開催

平成29年10月27～28日千葉にて日本放射線影響学会が開催されました。10月29日いわき市文化センターで「サテライトシンポジウムinいわき2017」が開かれました。日本放射線影響学会は、ビキニ環礁水爆実験における環境汚染の調査研究の一つとして設立されたそうです。今回のテーマは「国際基準から見た福島原発事故後の安全・安心について～産み育て共に暮らす街づくりをめざして～」とし、『国連（UNSCEAR）の立場から』、『世界保健機構（WHO）の立場から』、『UNSCEAR日本代表の立場から～総括的に～』、『政府において対応した立場から～福島原発事故に対応した消防隊に随同行した経験を踏まえて～』と、4題講演されました。特に、科学的見地からは、2011年の東日本大震災による福島第一原子力

発電所の放射線漏えい事故は、チェルノブイリ原発事故に比べ低線量であることが判明し、報告書は2013年に発行されていて、毎年更新されています。また放射線による次世代への影響も、科学的にはないことが公表されています。これは長崎・広島での8～10万人規模の2世調査からの次世代への影響なしとの結論が出されているとのことです。放射線からの影響よりも、むしろ精神的ストレスが影響されるなど説明されました。このような学会が、このいわき市の地で開催されたことに感謝いたします。

(菅原)



編集後記

12月、1月は技師会の行事も少なく、技師の皆様は個人的な集まり（忘年会、新年会など）が多かったのではないかと思います。

2月、3月とまだまだ寒い日が続きますので、インフルエンザにも気を付けてお仕事を頑張ってください。

(大井)

会費の納入は お済ですか？

お済でない方は
速やかに納入いただきますよう
ご協力のほどよろしくお願いいたします